

『多摩川タイムライン検討部会』について

- 近年の頻発化、激甚化する水災害発生状況を踏まえ、防災関係機関の連携によるより具体的で詳細な防災行動計画(タイムライン)策定に向けた「多摩川タイムライン高度運用検討会」を推進
- 参加機関 多摩川沿川自治体等25機関
- 令和2年度の台風14号におけるタイムライン運用のふりかえり及び訓練を実施した。

平成31年2月6日 第1回検討会開催
・設立趣旨、タイムライン作成(詳細版)の方向性共有

令和元年7月25日 第1回中・下流ブロックWG
令和元年7月30日 第1回上流・浅川ブロックWG
・対象ハザードと想定される被害の認識
・過去の災害対応ふりかえりと共有/想定シナリオ提示

令和元年9月25日 第2回検討会開催
・TL策定対象機関の確認、情報共有手法の協議

 **令和元年10月12日 台風第19号**
・防災行動に関するアンケート調査

令和2年2月5日 第3回検討会
・タイムライン(案) 修正、情報共有手法の確認

令和2年2月19日 第2回ブロックWG
・チェックリストの試行活用訓練実施

令和2年11月26日 第4回検討会開催
・台風第14号の対応のふりかえり、訓練の実施

【第4回検討会の検討概要】
1. 令和2年度におけるタイムライン運用の振り返りについて
 (1) 台風第14号における対応についてのアンケート結果報告
 (2) タイムライン運用について意見交換
2. 令和2年度多摩川水系タイムライン試行訓練について

◆ 台風第14号は、『ステージ1-1』の運用にとどまったため、チェックシート等の活用状況をアンケートにより把握した。

【タイムライン運用における課題等】

- タイムライン適用開始について関係機関へのメールにて周知を行ったが、結果的にメールが送信できていなかった。また、台風が大きくそれたこともあり、全ての機関でチェックシートを活用していなかった。
- その理由として、使用開始のタイミングが分からなかった。タイムラインの適用対象と認識していなかった。当該台風による影響は少ないと判断し、チェックシートを活用する程の災害対応体制をとらなかった。ことが挙げられている。
- 情報セキュリティの関係でマクロ(エクセル)の利用に制限があるため、多摩川水系タイムラインのチェック項目を利用した市タイムラインを作成し、活用している。


チェックシート等の活用訓練の実施

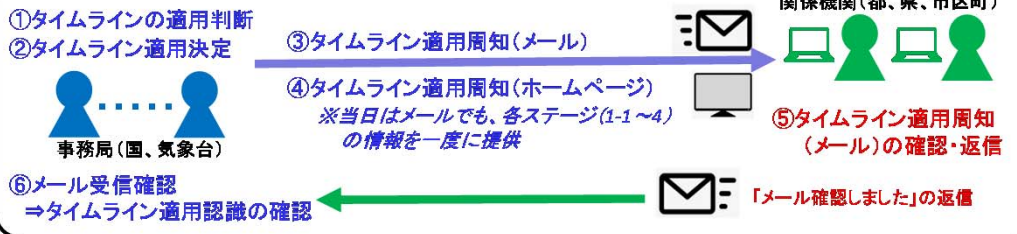
『多摩川タイムライン検討部会』について

■今後の出水に備え、「タイムラインチェックシート運用訓練」を実施した。なお、昨年度から担当者も変更となっている自治体もあることから、訓練実施前にタイムラインチェックシートの活用説明会を実施した。

令和2年12月10日
チェックシート説明会 (Web方式)

令和2年12月22日
タイムライン運用訓練 (Web方式)

(1) タイムラインの運用開始 (ステージ1-1)



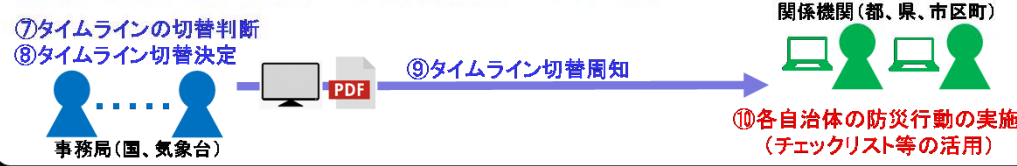
Web
接続

●適用開始の共有

訓練終了まで
自治体の対応状況
に応じて
退出・参加は自由

訓練終了
まで
回線接続

(2) タイムラインのステージ切替 (ステージ1-2)



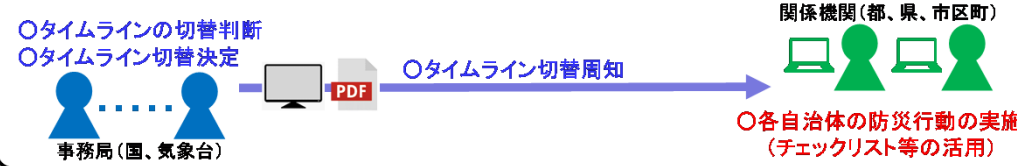
●ステージ切替
状況の共有

●質問等対応

●ステージ切替
状況の共有

●質問等対応

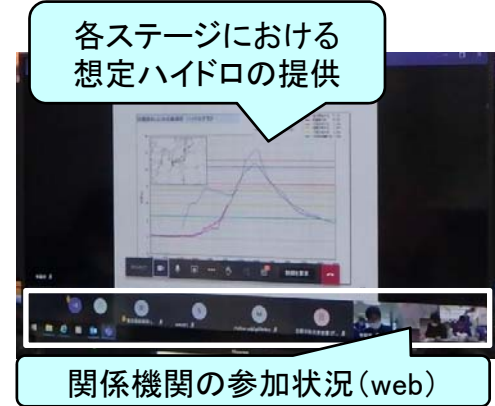
(3) タイムラインのステージ切替 (ステージ2~4)



訓練終了



<訓練実施状況 (京浜河川事務所)>



令和2年度まで「多摩川タイムライン高度運用検討会」として、試行運用を行ってきたが、令和3年度以降は「多摩川・鶴見川・相模川流域大規模氾濫減災協議会」における『多摩川タイムライン検討部会』(規約第4条の4)と位置づけ、検討結果等について公表する。